

2014 年度 鳥取大学医学部 英語 解説

▶ 語彙レベルは標準的であるが、構文が捉えづらいものが多い。英作文はそのまま考える
と英語に訳しにくいものが多い。日本語を見て、どの文法事項を使えばよいか瞬時に判断
できるように訓練をつんでおく。

解答方式	時間	大問数	難易度
記述式	90 分	3 問	標準

■設問別分析

大問	区分	内容	難易度
1	長文読解	下線部和訳、空所補充、説明、内容一致	標準
2	長文読解	下線部和訳、説明、空所補充	標準
3	英作文	下線部英訳	やや難

■設問別解説

①

バイリンガルであることが脳に与える影響について書かれた英文。センターレベルの英文
であるので、確実に得点したい。

問1 構文も容易で語彙レベルもあまり高くないため、差はつかない。

問2 本文の該当箇所も読みやすいので正解したい。正解は2

問3 直前の monitoring を選ぶ。

問4 同段落の peers raised with one language に対応。peers=babies を対比から読
み取る。

問5 本文に言及が無い内容の選択肢も含まれているが、該当箇所の文章も読みやすいの
で、一つずつ処理していけば得点できる。

②

ホンダがアメリカでバイクを売る際に行った戦略について書かれた英文。こちらもセンタ
ーレベルであるため確実に得点する。

③

鳥取大学の問題で差がつくとすれば、下線部英訳である。日本語を読んだ瞬間にどの文法
事項を使えば表現できるか判断できるように訓練を積んでおく。文法事項について詳しく
書かれた英作文の参考書を仕上げると良い。

推薦参考書「例解 和文英訳教本 文法矯正編」小倉弘